令和８年第２回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 （議席番号）	質問者	質　問　項　目	答弁者	摘要
１ （５）	大畠　光敬	**新十津川農業高校と連携した景観形成について** 新十津川農業高校は、ガーデニング甲子園等で高い実績を上げており、その教育内容も、地域と連携した持続可能な農業やアグロエコロジー学習に力を入れている。 一方で、町内において高校の成果や魅力が日常的に見える機会は限定的であると感じる。 そこで、農業高校生がガーデニング等のデザインや監修を行い、地域団体や施設管理者等が維持管理を担う形で、公共施設などへ小規模分散型の花壇等を配置し、町の景観形成や地域の魅力向上につなげてはどうか。 役場前バス停周辺など、高校生や町民、多くの来訪者の目に触れる場所を活用することで、高校生の活動が地域の中で見える形となり、農業高校の魅力発信や地域の景観形成や地域回遊の観点にもつながると考える。 町として、農業高校や関係団体等と連携し、景観形成や地域づくりにつなげていく考えについて伺う。	町長	
２ （１）	村上　敏晃	**同行避難場所の在り方とペットの避難所になるドッグランの整備** （１）ペットとの同行避難について。新十津川町地域防災計画（一般災害対策編）において「家庭動物との同行避難について、あらかじめ町は、避難所における家庭動物の種に応じた同行避難の可否について調整しておくとともに、災害時には、家庭動物同行避難所の開設状況を広報するものとする。」と定めている。しかし、災害が発生してからの周知では避難時の道路の混雑が予想されたり、マイタイムラインに基づく自主的な避難に対応しきれなかったりすることが懸念され	町長	

順位 （議席番号）	質問者	質　　問　　項　　目	答弁者	摘要
		る。以上のことから、家庭動物つまりペットとの同行避難場所をあらかじめ明確に定める必要があるのではないか。		
		（２）ふるさと公園内にある室内パークゴルフ場跡地やふるさと公園テニスコート跡地は、現在は特に使われていない町有地となっている。これを活用して、ペットとの同行避難場所にも活用できる広大なドッグランを新設してはどうか。	町長	